

概要版

榛東村

都市計画マスタープラン

R8 → R28

enjoy  
SHINTO

令和8年3月

# 01 計画策定の目的

どうして、計画を見直すのですか？

榛東村では、平成18年3月に「榛東村都市計画マスタープラン」をつくり、交通の便利さや、周辺地域へのアクセスの良さなどをいかながら、地域ごとのまちづくりを進めてきました。それから約20年がたち、日本全体で人口が減り、高齢者が増える中で、私たちの暮らし方や考え方も大きく変わってきています。最近では、テレワークなど新しい働き方が広がり、住む場所や働く場所の選び方も多様になりました。また、地震や大雨などの災害が増え、安全で安心して暮らせるまちづくりの大切さも高まるなど、様々な変化に対応する必要が出てきました。



これからのまちづくりで、気になることは何ですか？

榛東村には、交通の便利さや豊かな自然など、暮らしやすさにつながる魅力があります。その一方で、用途地域の外にも住宅が増えてきたことや、農地が少しずつ別の使い方に変わってきたことなど、土地の使われ方について気になる点も見られるようになってきました。



この計画の目的は何ですか？

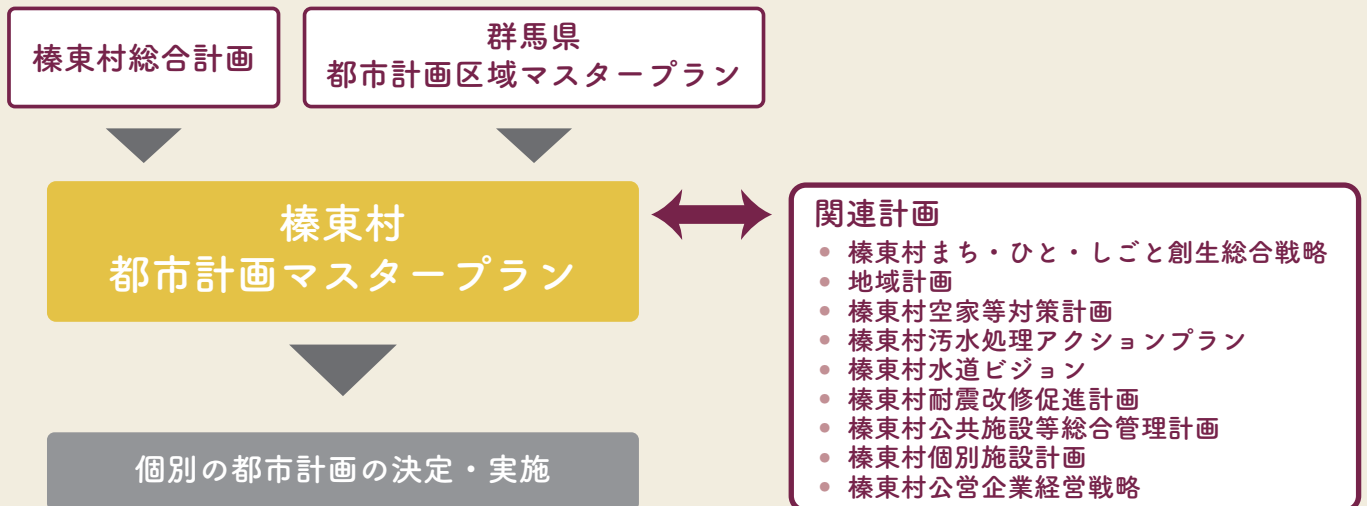
この計画では、家が無秩序に広がってしまうことを防ぎながら、これまで整えてきた道路や施設、日々の生活の便利さをいかした、無理のない土地の使い方を進めていきます。そのうえで、住民の皆さんが榛東村での暮らしを楽しみ、田園風景や人とのつながりを大切にしながら、時代の変化にも柔軟に対応し、村の魅力と暮らしの豊かさを、未来へ引き継いでいくことを目指しています。



# 02 計画の位置付け

本計画は、都市計画法に基づいて定める、榛東村のまちづくりの基本となる計画です。榛東村総合計画や、群馬県が示している都市計画区域マスタープランの方針とも整合をとりながら、これからのまちづくりの方向性をまとめています。

榛東村の都市計画を考えていくうえで、社会の動きや暮らしの変化をしっかりと受け止め、国や県の考え方も踏まえながら、将来に向けたまちづくりを進めていくための道しるべとなるものです。



計画期間

概ね20年後の令和28年（基準年令和8年）を計画期間とします。

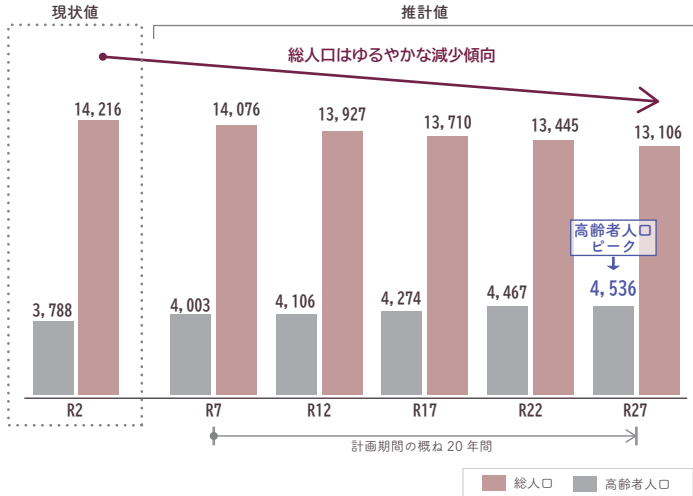
対象区域

都市計画区域となっている榛東村全域を対象とします。

## 人口減少と高齢化



緩やかながらも、人口減少が進行します。高齢者人口は約20年後のR27年にピークを迎え、高齢化率は34.6%になる見込みです。人口の動きを踏まえた、まちづくりが必要となります。



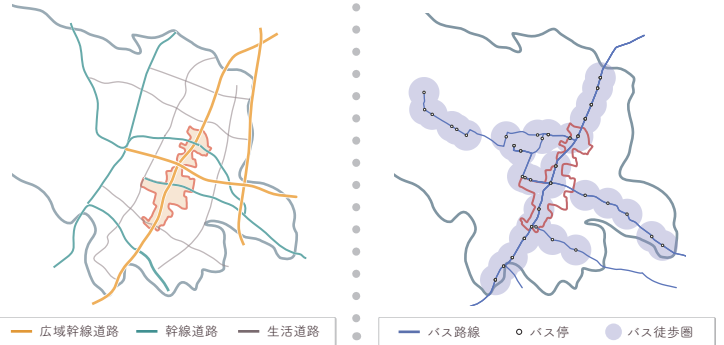
## 移動需要の変化



南新井前橋線バイパスの完成により、交通動線や沿道の土地利用の変化が見込まれます。広域幹線道路・幹線道路・生活道路の連携を図り、快適で安全な道路空間の形成が求められます。



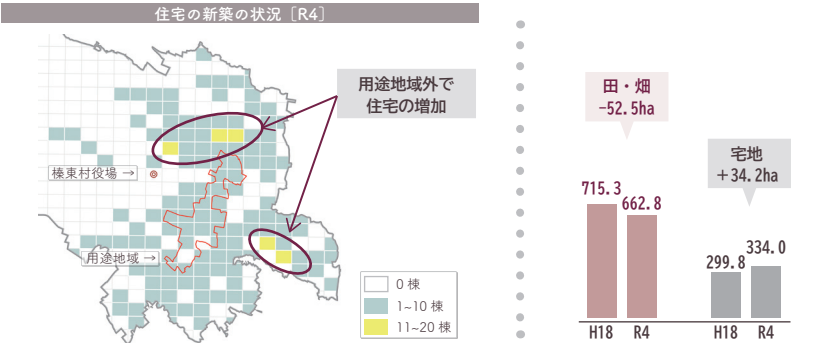
村内の公共交通（路線バス）は幹線道路等を中心に6路線が運行していますが、交通空白地域も点在しています。高齢化や居住分布を踏まえ、移動手段の確保について検討していく必要があります。



## 農地の減少と宅地の増加



R4年度都市計画基礎調査によると、住宅の約9割は用途地域の外に立地しています。H18年～R4年にかけて、田んぼや畑などの農地は52.5ha減少し、宅地は34.2ha増加しました。農地と宅地のバランスを考えた土地利用の在り方を考える必要があります。



村の中で起きている事って??



榛東村を知る

## 6つのデータ

時代の変化とともに、人口などの村を取り巻く状況も変わってきました。まちづくりを考える上では、村の状況を知ることが大切です。

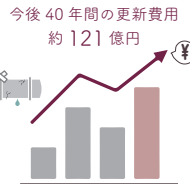
## 公園・インフラ施設の老朽化



村内には都市公園が10か所・その他公園が10か所あり、設置してから年数が経っている公園も見られます。適切な維持管理や更新、運営の工夫が必要です。



浄・配水施設について、法定耐用年数で更新した場合、今後40年間で121億円（年間平均約3億円）の費用が見込まれています。老朽化に伴う更新費用や耐震化について検討が必要です。



## 災害に強いまちづくり



村内には大きな河川がなく、河川による洪水災害のリスクは他自治体と比較すると小さいと言えますが、21か所のため池を有しており、そのうち14か所が防災重点農業ため池となっています。全国的な自然災害の甚大化等を踏まえ、ハード対策に加え、防災意識の醸成などが必要です。



## 魅力的な景観づくり



村内全域に空き家が点在し、今後さらに増加する可能性があります。安全性や景観の観点から、適切な管理や利活用についての検討が必要です。

また、太陽光発電施設も村内各地に点在しており、景観や住環境との調和に配慮した考え方が重要となります。



←村内に点在する太陽光発電施設

# 03 まちづくりの基本的な方針

## 将来像

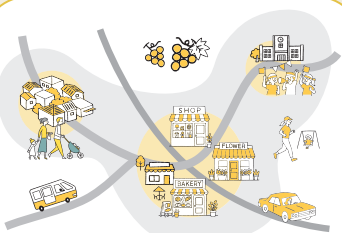
土地の使い方や、生活・産業の中心となる場所を整理しながら、道路や公共交通、公共施設の整備を進めます。あわせて、災害に強いインフラの整備や、安心して暮らせる住環境の確保にも取り組みます。

こうした取組を通じて、暮らし・しごと・憩いがバランスよく成り立つ、コンパクトで将来にわたって続けていけるまちづくりを進めていきます。

自然や歴史、景観との調和を大切にし、生活の便利さと田園のゆとりをあわせ持つ「ちょうどよい田舎」を実現し、誰もが安心して暮らし続けられる地域を目指します。



## 目標



つながりとにぎわいを  
“育てる”

利便性が高く快適な暮らしを  
“つなぐ”



豊かな自然・景観を未来へ  
“つなぐ”

### 榛東村での暮らしを 楽しむ



安全・安心な暮らしを  
“守る”

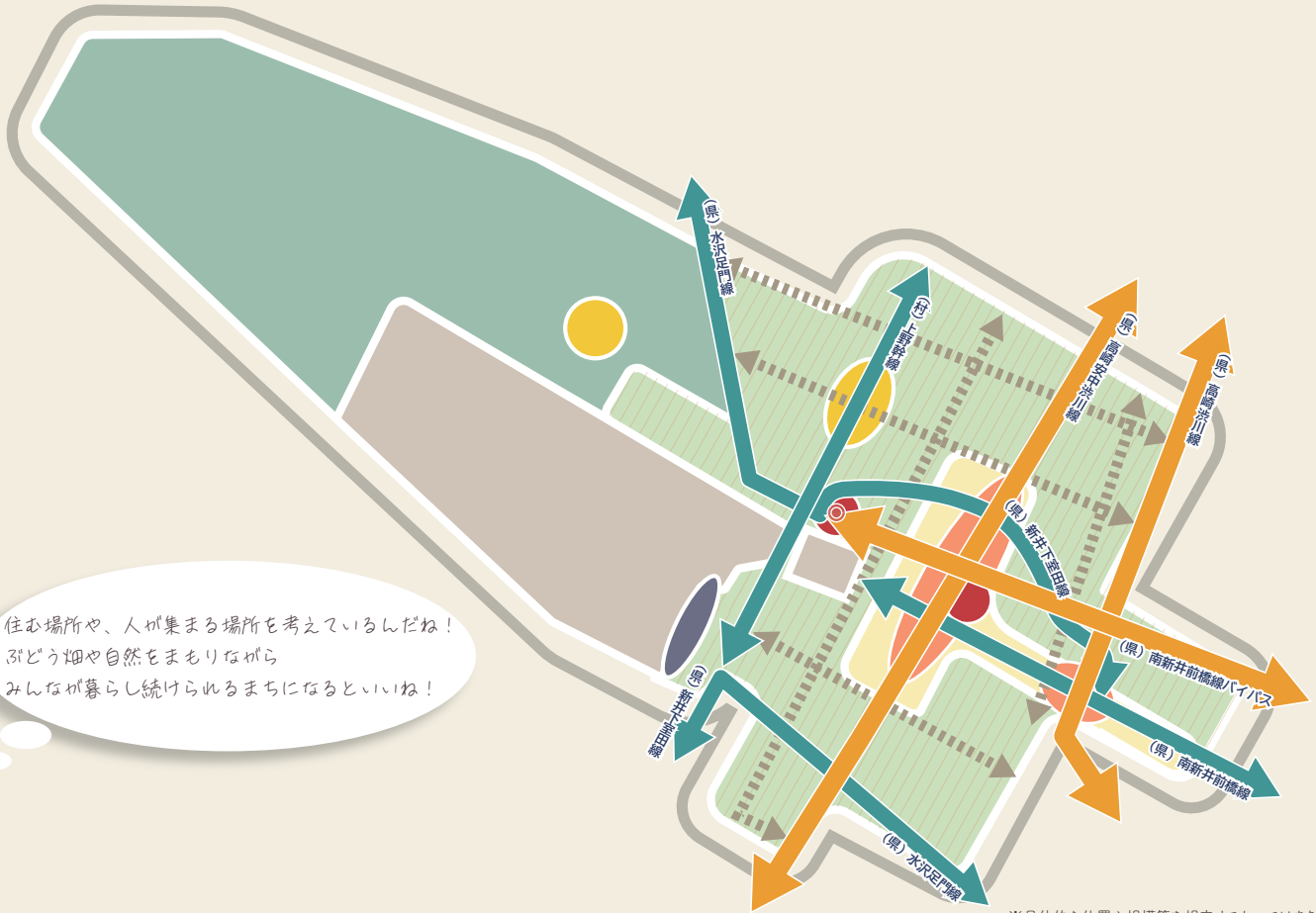


みんなで村の未来を  
“育てる・守る”



# 04 将来都市構想像

現在の土地利用や道路ネットワークを基本としながら、生活や産業の拠点を形成し、交通軸を整備することで、利便性とゆとりをあわせもつ都市構想像を目指します。



※具体的な位置や規模等を規定するものではありません

## ゾーン

	<b>住まいと暮らしゾーン</b>	主に住宅地で構成される区域を位置付け、商業や公共施設など日常生活に必要な機能がバランスよく配置された、利便性と快適性に優れたゾーンの形成を図る。
	<b>人とみどりの共生ゾーン</b>	住宅地や農地が共存する区域を位置付け、みどり豊かでゆとりと潤いのある、暮らしと自然が調和したゾーンの形成を図る。
	<b>自然環境ゾーン</b>	保全すべき森林で構成される区域を位置付け、良好な景観と自然の魅力をいかした、やすらぎのあるゾーンの形成を図る。

## 拠点

	<b>生活拠点</b>	既存の用途地域を中心に、周辺住民の日常生活に必要な施設を集積させ、交通利便性の向上と併せて、快適で利便性の高い生活拠点の形成を図る。
	<b>交流拠点</b>	創造の森やしんとうふるさと公園の周辺を中心に、村外からの利用も見込まれる観光・レクリエーション施設を集積させ、村全体の魅力向上にぎわいを創出する拠点の形成を図る。
	<b>地域防災拠点</b>	役場と新設された防災中枢機能施設を中心に、地域の防災活動の中枢となる拠点の形成を図る。
	<b>工業拠点</b>	既存の工業拠点を中心に、工場など産業施設を集積させ、地域経済を支えるとともに、環境との調和を図りながら持続可能な産業拠点の形成を図る。

## 交通軸

	<b>広域幹線軸</b>	都市の骨格を形成する軸として位置付け、沿道の住環境や景観に配慮した適切な土地利用を誘導するとともに、周辺の拠点と連携した広域的なネットワークの形成を図る。 高崎安中渋川線 / 高崎渋川線 / 南新井前橋線バイパス
	<b>幹線軸</b>	広域幹線軸を補完する軸として位置付け、各地域や拠点間の有機的な連携と回遊性を高めるネットワークの形成を図る。 一般県道 / 上野幹線(村道)
	<b>生活軸</b>	住民の生活を支える地域内の軸として位置付け、狭隘道路の計画的な拡幅や補修を通じて、安全で利便性の高い交通ネットワークの形成を図る。 主要村道

## その他

- 防衛省施設用地
- 役場

今の榛東村のめちを基本としながら、住みやすく、まじまりのあるまちをつくろうとしているんだね！！

## 05 分野別の方針



5つの分野で進める  
まちづくり



### 都市交通の方針

ただ道路を整備するだけでなく、移動のしやすさや、  
まちのにぎわいにつながるよう考えているんだね



南新井前橋線バイパスの整備効果をいかし、接続道路や生活道路の改修、通学路の安全対策を進め、安心して移動できる環境を整えます。また、公共交通サービスの利便性向上により、病院や商業施設など村内外拠点へのアクセス性・回遊性を強化し、広域的な交通ネットワークとのつながりを確保します。



### 都市環境の方針

みんなが安心して使える公園や水道は大切だね。  
環境にやさしいまちづくりが、未来を支えるんだね。



榛名山麓の自然や田園風景などを守り、自然と調和した都市環境を育みます。公園や緑地は地域の憩いと交流の場として、既存施設の有効活用と適切な維持管理により、村の魅力向上を図ります。

空き家対策や環境施設の充実、上下水道など生活基盤インフラの整備・更新を通じて暮らしを支え、さらに公共施設の緑化や脱炭素の取組を進めることで、住民が自然や地域資源を身近に楽しむことのできる、持続可能で快適な生活環境を実現します。



### 都市景観の方針

自然と調和した、のびかで落ち着いた  
景観を目指しているんだね！



榛名山麓の豊かな自然、田園集落の農村風景、歴史資源など、多様で特徴のある景観を有しています。これらを将来にわたって保全・活用し、村の魅力を高めるとともに、住民が誇りを持ち、訪れる人々に親しまれる良好な都市景観の形成を目指します。

また、土地利用の特性に応じた景観形成を進めるとともに、眺望や自然・歴史資源を生かした景観づくりを推進します。



### 都市防災の方針

いざというときに備えて、日ごろから  
準備や確認しておくことが大切だね！



住民の生命と財産を守るため、防災・減災の観点から災害に強いまちづくりを進めます。災害の未然防止と被害の最小化を基本に、関係機関と連携して防災機能を高め、平常時から避難所整備やハザードマップの周知、マイタイムラインの作成支援や訓練を推進します。

災害時には多様な情報伝達を活用し、迅速な避難行動と初動対応を図るとともに、復旧・復興を見据えた「復興事前準備」に取り組めます。こうしたハード・ソフト両面での取組を通じて、自助・共助・公助が一体となる体制を築き、安心して暮らせる村を目指します。



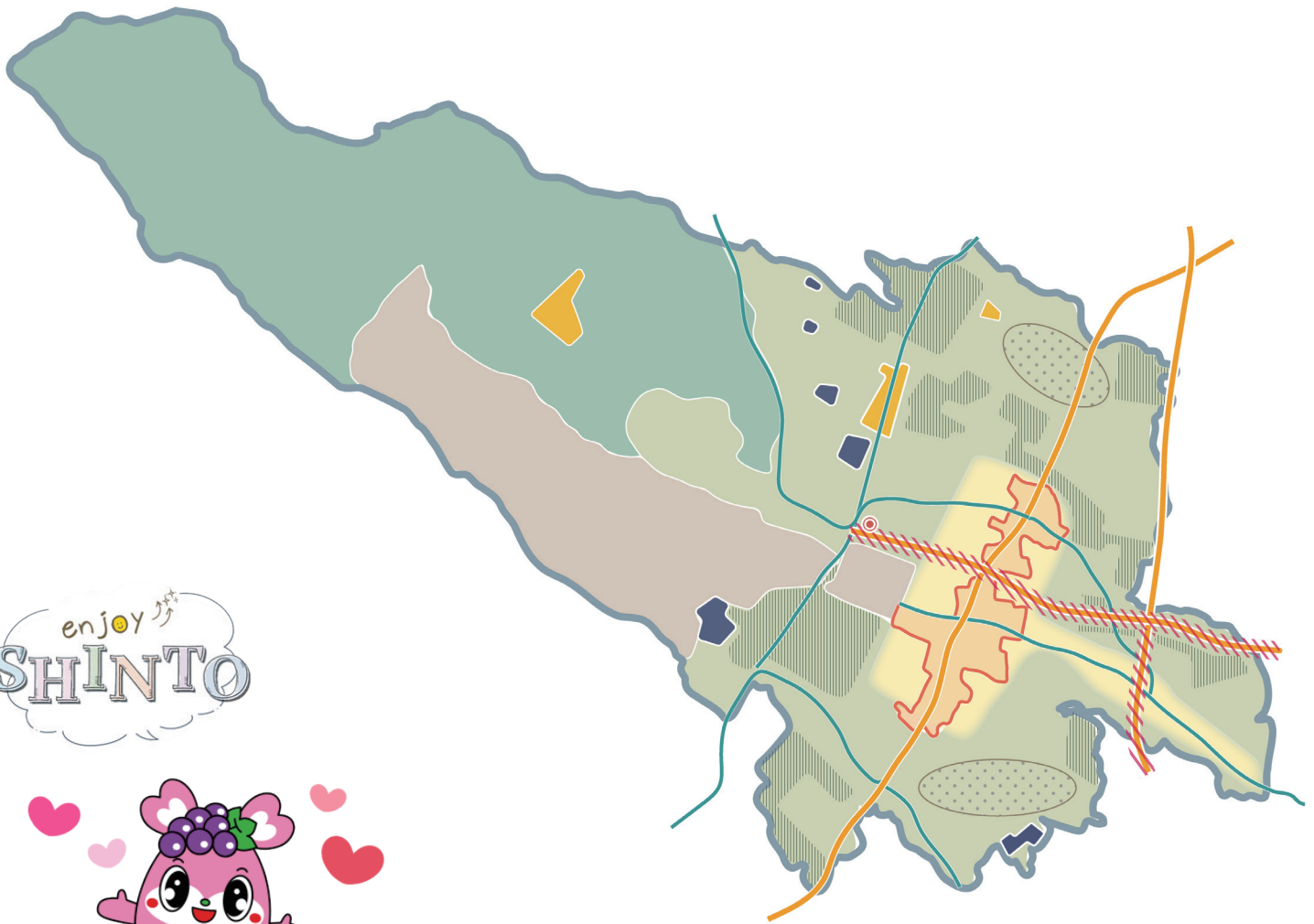


## 土地利用の方針

ゾーンやエリアごとで、  
取り組む内容が違うんだね



適切なコントロールにより、良好な住環境と生活環境を守りつつ、自然や農地と調和した土地利用を進め、将来にわたって持続可能なまちづくりを目指します。また、都市計画法に基づく制度の運用や立地適正化計画の策定、地域の特性に応じたルールづくりを通じて、無秩序な開発を抑制し、計画的な土地利用を図ります。



enjoy かな  
SHINTO



住まいと暮らしゾーン	人とみどりの共生ゾーン	自然環境ゾーン	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>居住誘導エリア</li> <li>居住エリア</li> <li>沿道サービスエリア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地・集落共生エリア</li> <li>農地保全エリア</li> <li>レクリエーションエリア</li> <li>工業エリア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林エリア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存集落</li> <li>防衛省施設用地</li> <li>都市計画区域</li> <li>用途地域指定区域</li> <li>榛東村役場</li> </ul>





# enjoy SHINTO

概要版

榛東村都市計画マスタープラン R8 → R28

---

発行：令和 8 年 3 月

榛東村 建設課

〒370-3593

群馬県榛東村大字新井 790 番地 1

TEL：0279-54-2211 FAX：0279-54-8225